



PARAMOUNT BED
HOLDINGS

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年4月1日 ~ 2021年9月30日

2021年11月10日

証券コード：7817

パラマウントベッドホールディングス株式会社

as human, for human

増収増益決算

医療・介護・健康の各事業が概ね予算を上回って推移。
海外も主要拠点のあるインドネシア・中国を中心に売り上げを伸ばす。
昨年8月発売の在宅介護向け主力ベッドの販売が引き続き好調。

年間計画を修正

営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益は増益へ

各事業とも市場からの引き合いは強く順調に推移することが見込まれるが
コロナ影響による操業リスク・半導体等調達リスクが依然として存在。
下期の数字は据え置き、年間計画は上期上振れ分をそのままプラス。

営業面の影響（医療事業）

コロナ対応による収入増や補助金活用によるベッド等の整備をする医療機関が増加し、販売は見込みよりも順調。
海外は国によって状況は異なる。

営業面の影響（介護事業）

高齢者施設では、見守り需要が堅調。
在宅向けも利用者数が増加。

営業面の影響（健康事業）

引き続き巣ごもり需要による販売増。

生産面の影響

ベトナムにおけるロックダウンや中国における電力不足懸念も現在のところ影響は軽微。引き続き部材調達含め注視は必要。

1. 2022年3月期 第2四半期決算概要
2. 事業別概要
3. 2022年3月期 通期見通し
4. トピックス

1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

1-1. 決算概要

増収増益決算

第2四半期決算としては過去最高の売上・利益。

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期			
	実績	期初予算	実績	期初予算比	前期比※1
売上高	38,048	39,000	41,237	+ 5.7%	—
営業利益 (営業利益率)	4,646 (12.2%)	5,000 (12.8%)	6,297 (15.3%)	+ 25.9%	+35.5%
経常利益 (経常利益率)	4,893 (12.9%)	5,250 (13.5%)	6,827 (16.6%)	+ 30.0%	+39.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	2,625 (6.9%)	3,450 (8.8%)	4,925 (11.9%)	+ 42.8%	+87.6%
年間配当金 (中間配当) ※2	103円 (50円)	53円 (26円)	—	—	実質+2.9%

※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高は対前期増減率は記載していません。

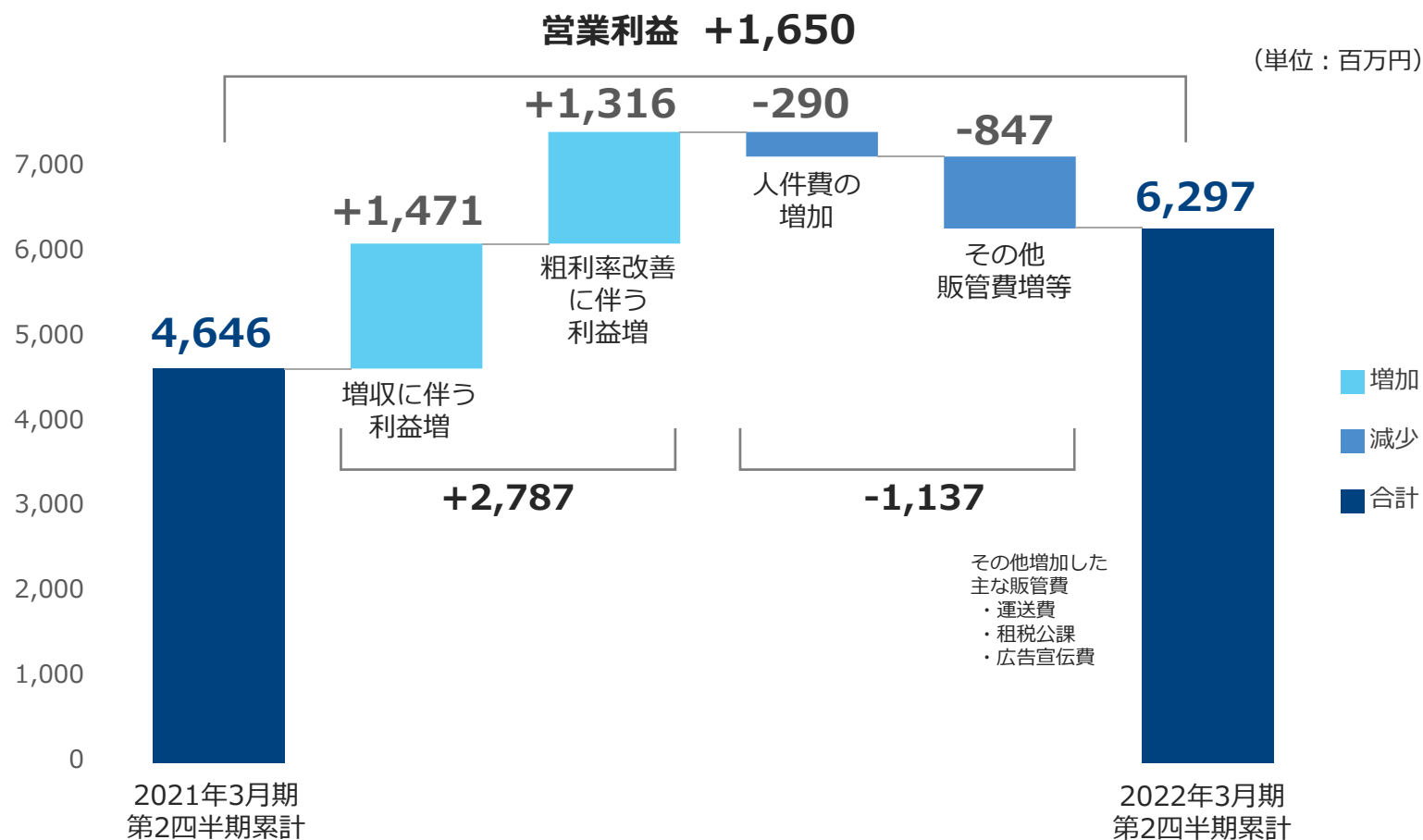
※2:2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2021年3月期の実績は分割前の実数を記載しています。

1-2. 営業利益増減要因

会計基準変更もあり粗利率大幅改善

粗利は新製品や見守りセンサーの販売好調等。

販管費はレンタル卸を中心とした人件費増や売上増に伴う運送費増等。



1-3. 財務の状況

純資産39億12百万円増（前期末比）

（単位：百万円）

	2021年3月末	2021年9月末	増減額	前期末比
流動資産	86,144	84,988	-1,156	-1.3%
固定資産	68,213	71,232	+3,019	+4.4%
資産合計	154,358	156,220	+1,862	+1.2%
流動負債	23,720	21,221	-2,499	-10.5%
固定負債	16,814	17,264	+450	+2.7%
負債合計	40,535	38,485	-2,050	-5.1%
純資産	113,822	117,734	+3,912	+3.4%
負債・純資産合計	154,358	156,220	+1,862	+1.2%

2. 事業別概要

2-1. 医療事業実績

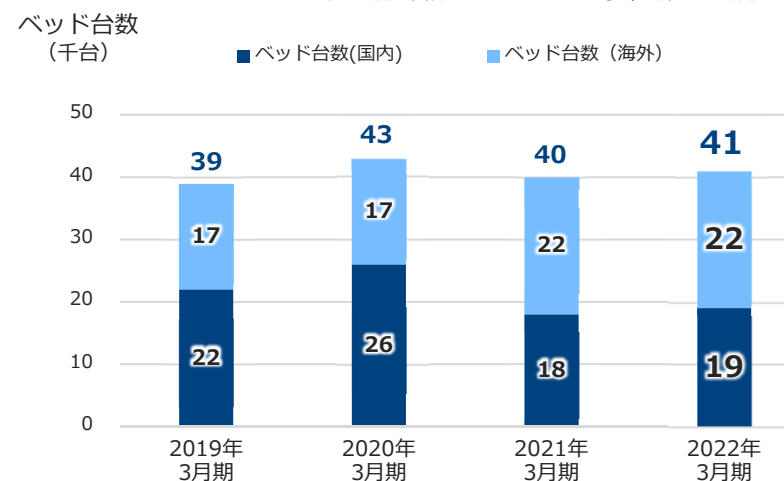
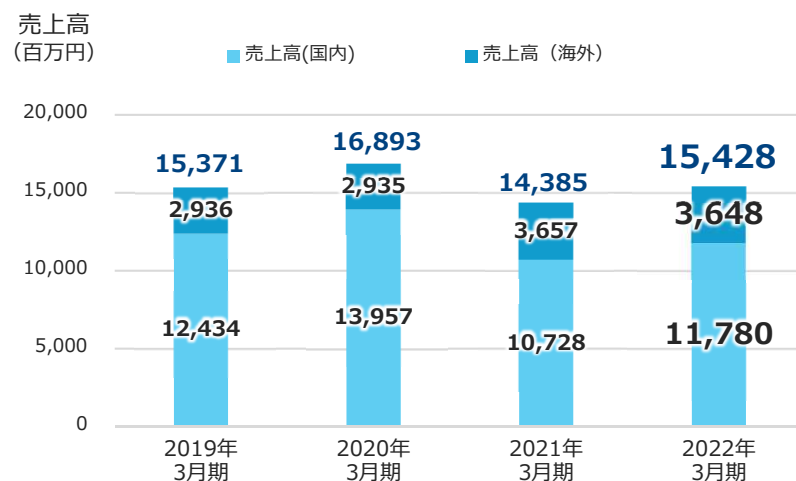
予算比好調

国内医療機関、コロナ対応の診療報酬増や各種補助金による設備投資発生。海外は前期中南米等における特需案件反動もインドネシアでコロナ対応の病床確保案件等で横ばい。

(単位：百万円)	2019.3 2Q	2020.3 2Q	2021.3 2Q	2022.3/2Q	前期比 ※1
				実績	
売上高	15,371	16,893	14,385	15,428	—
国内	12,434	13,957	10,728	11,780	—
海外	2,936	2,935	3,657	3,648	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	39	43	40	41	+4%
国内	22	26	18	19	+9%
海外	17	17	22	22	+0%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-2. 介護事業実績

施設向け・在宅向け ともに堅調

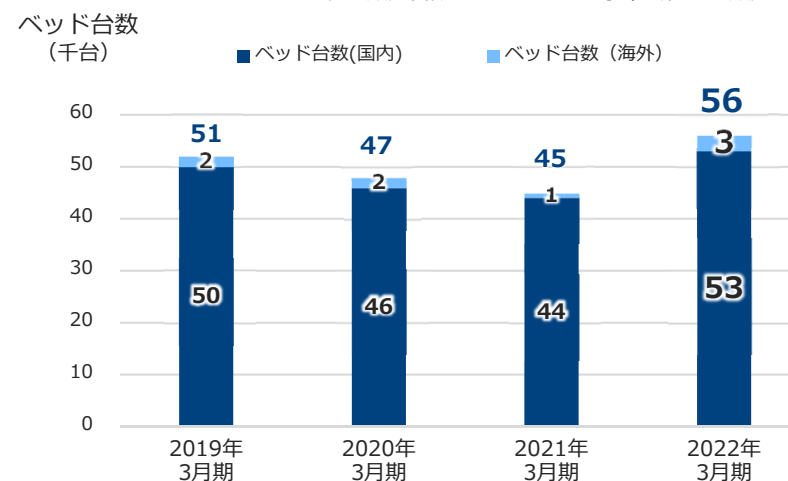
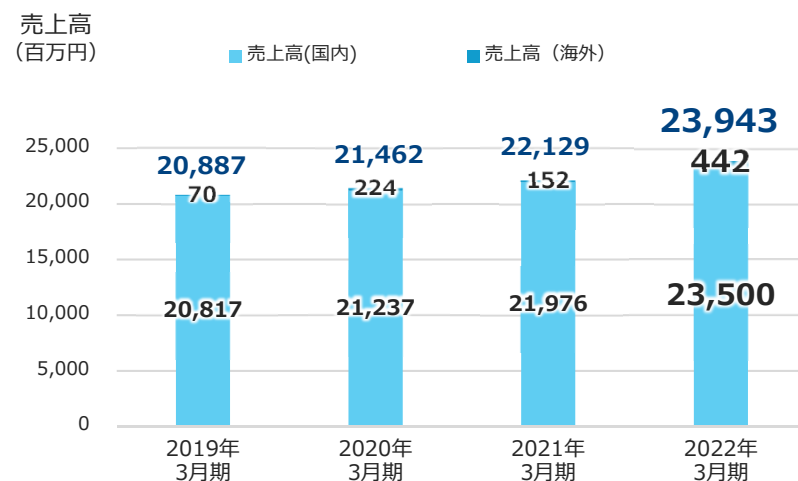
シンガポールで大型案件。
在宅向け新製品効果が
持続。

見守りセンサーは前期比
2千台増の約11,500台。

(単位：百万円)	2019.3 2Q	2020.3 2Q	2021.3 2Q	2022.3/2Q 実績	前期比 ※1
売上高	20,887	21,462	22,129	23,943	—
国内	20,817	21,237	21,976	23,500	—
海外	70	224	152	442	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	2019.3 2Q	2020.3 2Q	2021.3 2Q	2022.3/2Q 実績	前期比 ※1
ベッド販売台数	51	47	45	56	+23%
国内	50	46	44	53	+21%
海外	2	2	1	3	+118%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-3. 健康事業実績

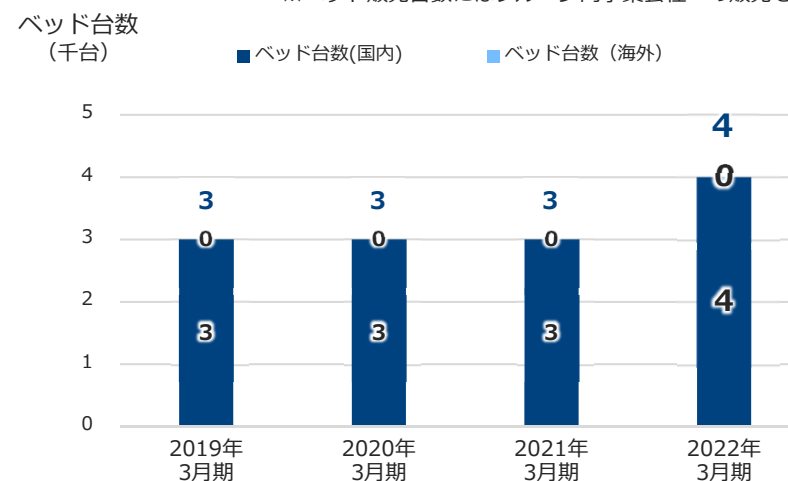
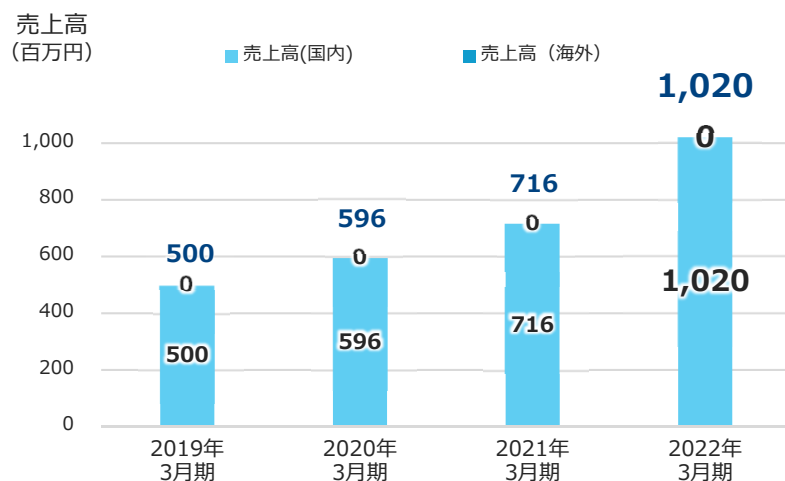
売上高は42%増加

巣ごもり需要を取込む。
引き続きブランド認知
向上施策を強化。

(単位：百万円)	2019.3 2Q	2020.3 2Q	2021.3 2Q	2022.3/2Q	
				実績	前期比 ※1
売上高	500	596	716	1,020	—
国内	500	596	716	1,020	—
海外	0	0	0	0	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	3	3	3	4	+28%
国内	3	3	3	4	+28%
海外	0	0	0	0	0%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-4. 事業別実績一覧

ベッド販売台数は15%増の10万2千台

「その他」の数字は2019年10月に子会社化したサダシゲ特殊合板株式会社。

売上高

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比※1
	第2四半期実績	第2四半期実績	
医療事業	14,385	15,428	—
国内	10,728	11,780	—
海外	3,657	3,648	—
介護事業	22,129	23,943	—
国内	21,976	23,500	—
海外	152	442	—
健康事業	716	1,020	—
国内	716	1,020	—
海外	0	0	—
その他	816	844	—
合計	38,048	41,237	—

ベッド販売台数

(単位：千台、千台未満四捨五入)

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比
	第2四半期実績	第2四半期実績	
医療事業	40	41	+4%
国内	18	19	+9%
海外	22	22	+0%
介護事業	45	56	+23%
国内	44	53	+21%
海外	1	3	+118%
健康事業	3	4	+28%
国内	3	4	+28%
海外	0	0	0%
その他	—	—	—
合計	89	102	+15%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

2-5. 海外地域別売上高

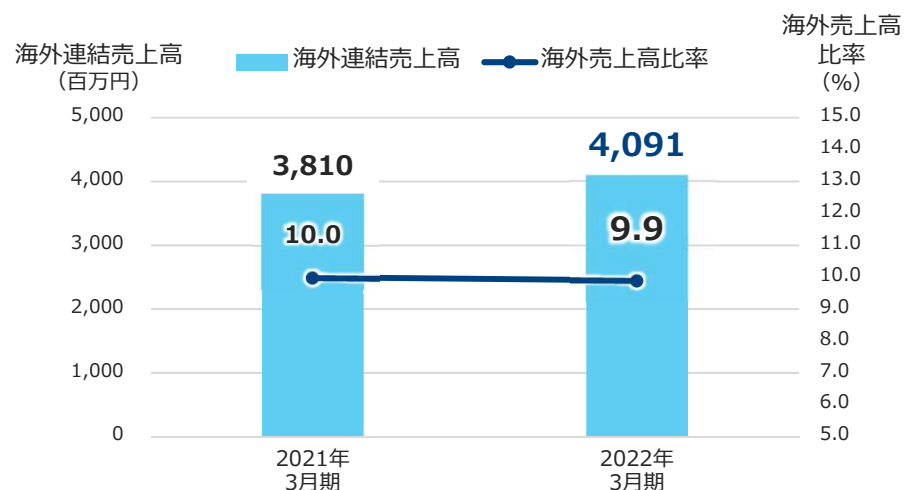
トータルで前期比増

中国は前期ロックダウンの反動増。中南米は前期特需案件の反動減。その他アジアはタイにおける医療ツーリズム激減の影響あるも、シンガポールにおける介護施設大型案件等により増加。

地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2021.3 2Q	2022.3 2Q	前期比※
海外連結売上高	3,810	4,091	—
海外売上高比率	10.0%	9.9%	—

(単位：百万円)	2021.3 2Q	2022.3 2Q	前期比※
アジア	2,946	3,889	—
インドネシア	1,405	1,528	—
中国	840	1,173	—
その他アジア	701	1,187	—
中東	124	19	—
中南米	663	77	—
その他	77	106	—



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3. 2022年3月期 通期見通し

3-1. 通期見通し

通期予算を上方修正、営業利益・純利益が増益へ

10月28日に修正発表。

※1:10月28日修正発表。 (単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			
	実績	上期実績	下期見込み	通期見通し※1	前期比※2
売上高	87,171	41,237	41,963	83,200	—
営業利益 (営業利益率)	11,582 (13.3%)	6,297 (15.3%)	5,503 (13.1%)	11,800 (14.2%)	+1.9%
経常利益 (経常利益率)	13,461 (15.4%)	6,827 (16.6%)	5,723 (13.6%)	12,550 (15.1%)	-6.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	8,611 (9.9%)	4,925 (11.9%)	3,725 (8.9%)	8,650 (10.4%)	+0.4%
年間配当金※3	103円	26円	27円	53円	実質+2.9%

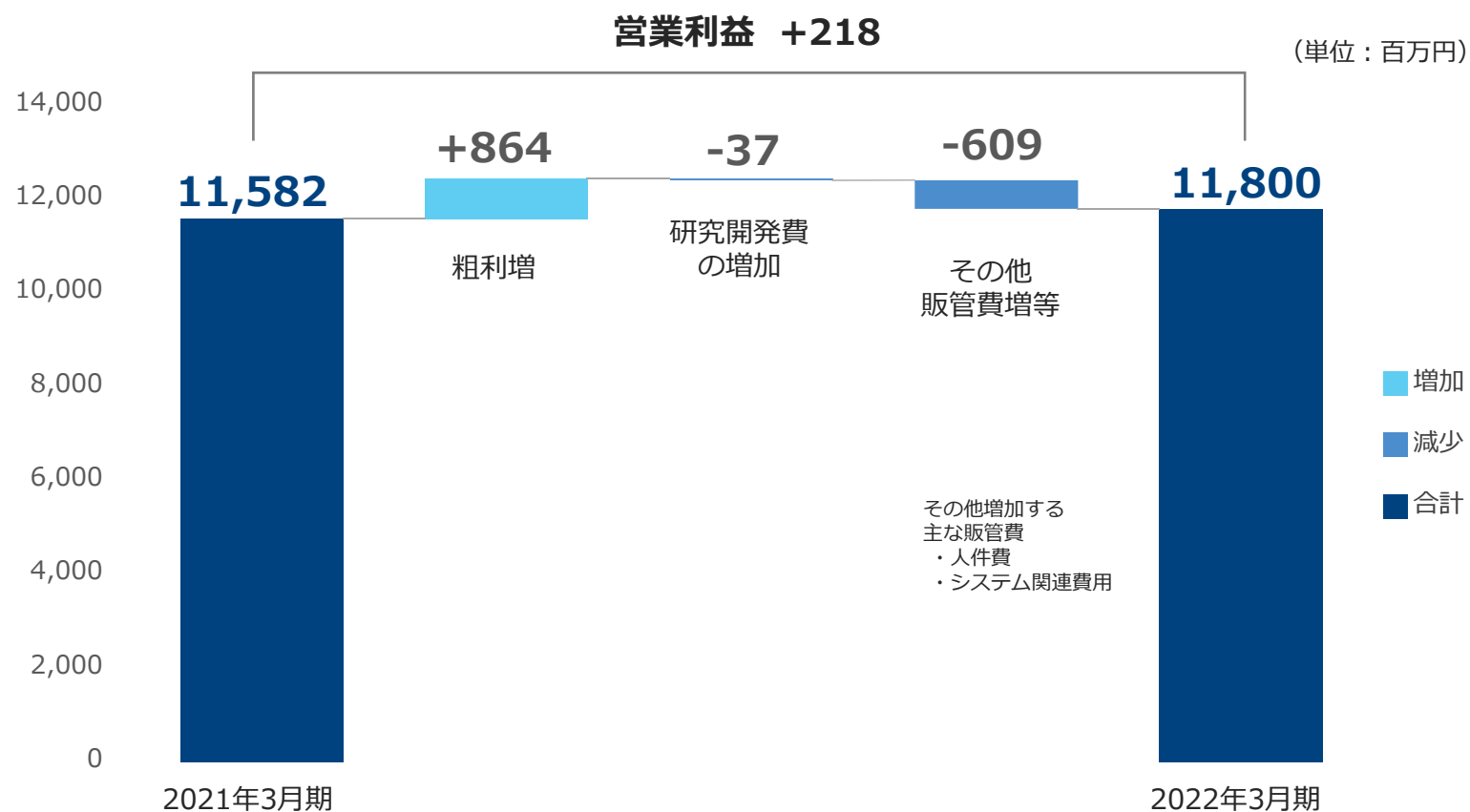
※2:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高は対前期増減率は記載していません。

※3:2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2021年3月期の実績は分割前の実数を記載しています。

3-2. 営業利益増減要因

粗利増

販管費の増加を6.4億円に抑え増益。



3-3. 医療事業見通し

国内は引き合いが強い

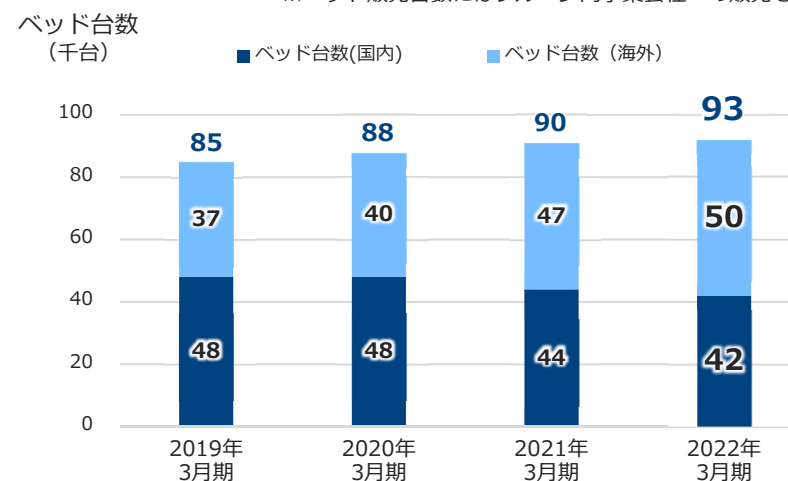
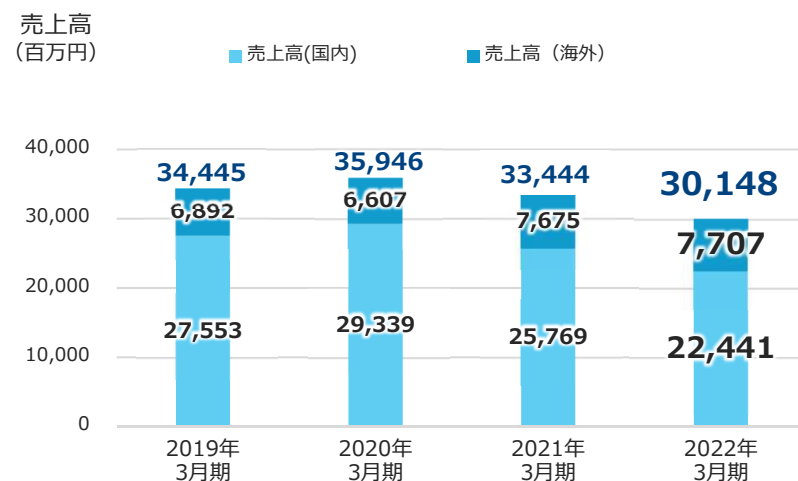
メンテナンスも順調。
医療向けに見守りセンサーを拡販。

海外は中国を中心にICU等の病床整備案件を取り込む。

(単位：百万円)	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比 ※1
				見通し	
売上高	34,445	35,946	33,444	30,148	—
国内	27,553	29,339	25,769	22,441	—
海外	6,892	6,607	7,675	7,707	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	85	88	90	93	+3%
国内	48	48	44	42	-3%
海外	37	40	47	50	+8%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-4. 介護事業見通し

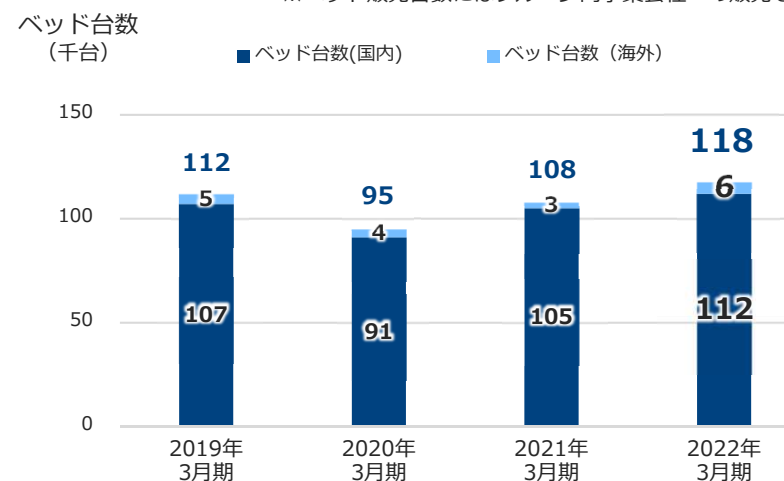
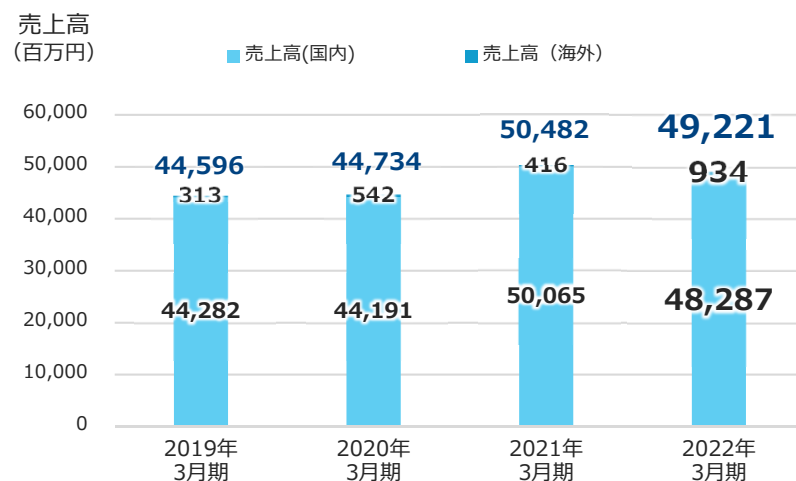
上期の好調を維持 トータルで台数増

レンタルは堅調を維持。
見守りセンサーは大口案件
減も医療含め3.9万台を
見込む。

(単位：百万円)	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比 ※1
				見通し	
売上高	44,596	44,734	50,482	49,221	—
国内	44,282	44,191	50,065	48,287	—
海外	313	542	416	934	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	112	95	108	118	+10%
国内	107	91	105	112	+7%
海外	5	4	3	6	+122%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-5. 健康事業見通し

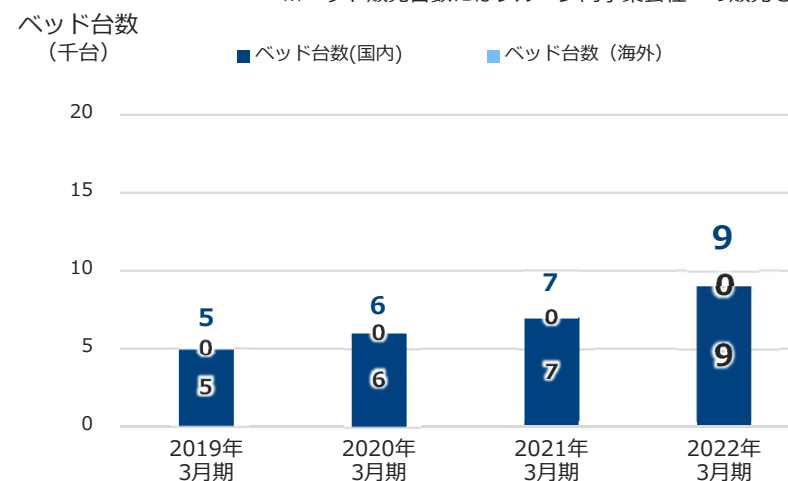
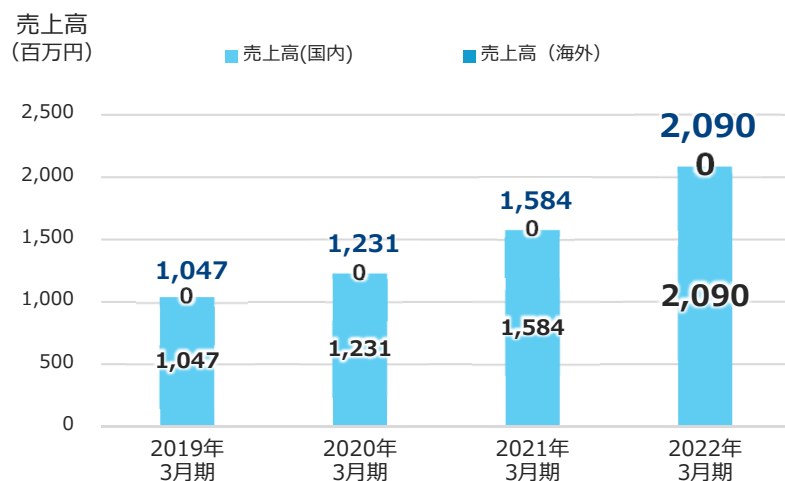
引き続き拡大 を見込む

SNS関連を中心にPR強化。
ベッド購入者に対する
生活支援サービスを開始。
他社アプリとの連携強化。
ファン獲得と認知向上を
目指す。

(単位：百万円)	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	前期比 ※1
				見通し	
売上高	1,047	1,231	1,584	2,090	—
国内	1,047	1,231	1,584	2,090	—
海外	0	0	0	0	—

(単位：千台、千台未満四捨五入、前期比は実数をもとに計算)					
ベッド販売台数	5	6	7	9	+21%
国内	5	6	7	9	+21%
海外	0	0	0	0	0%

※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。



※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-6. 事業別一覧

ベッド販売台数は7%増の21万9千台

売上高

※1:10月28日修正発表。(単位:百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	
		実績	見通し 前期比※1
医療事業	33,444	30,148	—
国内	25,769	22,441	—
海外	7,675	7,707	—
介護事業	50,482	49,221	—
国内	50,065	48,287	—
海外	416	934	—
健康事業	1,584	2,090	—
国内	1,584	2,090	—
海外	0	0	—
その他	1,659	1,739	—
合計	87,171	83,200	—

ベッド販売台数

(単位:千台、千台未満四捨五入)

	2021年 3月期	2022年 3月期	
		実績	見通し 前期比
	90	93	+3%
	44	42	-3%
	47	50	+8%
	108	118	+10%
	105	112	+7%
	3	6	+122%
	7	9	+21%
	7	9	+21%
	0	0	0%
	—	—	—
	205	219	+7%

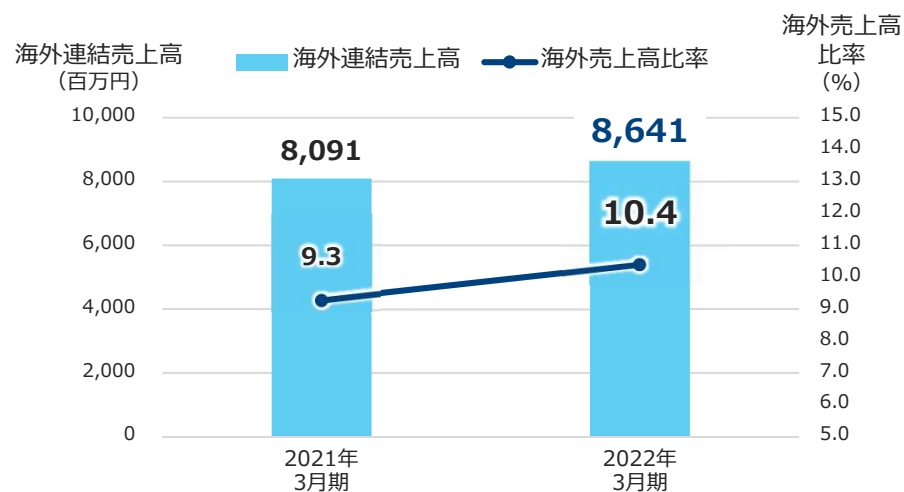
※ベッド販売台数にはグループ内事業会社への販売も含まれています。

1:※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-7. 海外地域別売上高

前期の緊急整備特需の反動あるも全体としては増加

(単位：百万円)	2021.3	2022.3 見通し	前期比 ※1
海外連結売上高	8,091	8,641	—
海外売上高比率	9.3%	10.4%	—



地域別海外連結売上高

(単位：百万円)	2021.3	2022.3 見通し	前期比 ※1
アジア	6,914	7,911	—
インドネシア	3,057	3,172	—
中国	2,199	2,497	—
その他アジア	1,656	2,241	—
中東	222	131	—
中南米	808	387	—
その他	147	212	—

※1:2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、売上高の対前期増減率は記載していません。

3-8. 設備投資等

減価償却はPCSレンタル資産等が引き続き増加

設備投資は新マットレス工場及び営業支店の移転関連が一服。

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 予算
設備投資費	2,082	3,984	2,976	2,342
減価償却費	6,362	6,895	7,540	8,036
研究開発費	1,642	1,677	1,782	1,819
従業員数	3,224	3,494	3,614	—

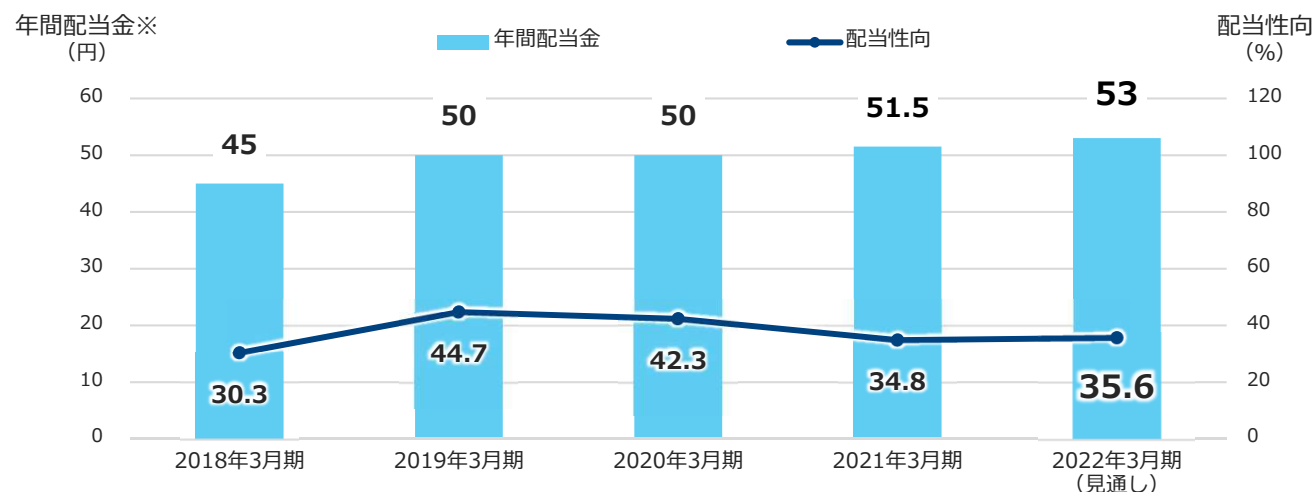
3-9. 株主還元（配当・自己株取得）

基本方針：純資産配当率 2.7%、配当性向 30%を目安に 安定配当

2022年3月期は年間53円を予定。実質増配見込み。

※2:10月28日修正発表。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 見通し
年間配当金※1	45円	50円	50円	51.5円	53円
純資産配当率（DOE）	2.7%	2.8%	2.7%	2.7%	—
配当性向	30.3%	44.7%	42.3%	34.8%	35.6%※2
自己株取得額	0円	0円	4,382百万円	0円	—



※1:当社は2021年4月1日を効力日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
上記は、2017年4月1日に当該分割が行われたと仮定した1株当たりの年間配当金を算定しています。

4. トピックス

4-1. トピックス

医療事業向け新製品

医療施設向け主力製品「メーティスPROシリーズ」を モデルチェンジ（6月）

- 最新の背上げ機能や高い搬送性を持つ
離床センサー付きの病院向け主力モデル。
 - 全ての機能を一元管理可能なベッドナビを搭載。
 - 床ずれ防止エアマットレスの設定が可能。
 - 見守り支援システムのデータも表示。
 - 挟み込み防止のための障害物検知機能。
 - 最大利用者体重を従来の138kgから153kgへ。
-
- 2021年6月発売。
 - オープン価格。



医療施設向け電動ベッド「メーティスPROシリーズ」。



ベッドナビ(左)とエアマットレスの設定画面(右)。

4-2. トピックス

介護事業向け製品機能強化

在宅介護向け主力ベッド「楽匠プラスシリーズ」 操作アプリに音声操作機能を追加（7月）

- 指先でのボタン操作が難しい方向けの機能。
 - 動作を表す言葉を認識すると無線により動作。
 - 連続動作設定や最大角度制限など安全性にも配慮。
 - 外部操作スイッチとの連携も可能。
 - 将来的には意思伝達装置との連携も。
-
- 2021年7月配信開始。
 - バージョン11以上のiOS及びiPadOSが対応。



在宅介護向け電動ベッド「楽匠プラスシリーズ」。



音声操作時のアプリ画面イメージ。

4-3. トピックス

健康事業向け新製品

高いデザイン性と機能性でベッド上での快適を追求する
「INTIMEシリーズ」から、ソファに座るようなリラックス
した姿勢がとれる背上げ機構を搭載したモデルを発売（9月）

- 名称は「INTIME（インタイム）3000シリーズ」。
 - ベッド全体が傾斜する最新の背上げ機構を搭載。
 - 座面より足先が下がりソファに座るような姿勢に。
 - 必要の際は手すり等の介護オプション取付けも可能。
 - オプションの睡眠計測センサーとの連携も可能。
-
- 2021年9月発売。
 - 希望小売価格は330,000円
（税別、マットレス等は別売）から。



「INTIME3000シリーズ」設置イメージ。

4-4. トピックス

新規事業

NTT西日本との共同出資により、データを活用したオンラインヘルスケアサービスを提供する新会社を設立（7月）

- 商号：NTT PARAVITA株式会社
（NTTパラヴィータ）
- 設立：2021年7月
- 本社：大阪府大阪市
- 資本金：4.95億円
- 株主：西日本電信電話株式会社
パラマウントベッド株式会社
- 事業概要：ICTを活用した未病早期発見の支援や健康増進のための情報提供を目的としたヘルスケアサービス事業



地域の方々や従業員様の
健康増進※をサポートし
地域社会を元気に！

想定されるお客さま



健康増進サポートサービス



※ 健康維持、重症化予防、ウェルビーイング、医療・介護現場の発展、地域包括ケアシステムへの貢献等を含みます

4-5. トピックス

中期計画の期間を変更し業績目標を公表（2021年4月）

パラマウントビジョン2030

「医療」「介護」から「健康」まで すべての人に笑顔を

第Ⅰフェーズ
中期経営計画
(2020.4-2024.3)

第Ⅱフェーズ
(2024.4-2027.3)

第Ⅲフェーズ
(2027.4-2030.3)

「現行ビジネス拡大」
「健康事業本格化」
「変革への基盤構築」

2024年3月期の業績目標

売上高	890億円
営業利益	120億円
営業利益率	13.5%

SDGsや社会貢献への取り組み、人材基盤強化・基幹システム刷新

4-6. トピックス

SDGsトピックス

① レンタル商品梱包材にバイオマスプラスチックを採用

- 取組企業：パラマウントケアサービス株式会社
- レンタル商品梱包用袋の原材料に植物由来原料を採用。
- 原料植物の育成過程における光合成によりCO2削減効果。
- 石油資源の節約も
- CO2削減量は年間100トンの見込み。



② マングローブ苗木約5,800本の植樹育成資金相当額を寄付

- 取組企業：パラマウントベッド株式会社
- Active Sleep BED用アプリの社会貢献型ポイントプログラム「眠りのポイント」と連携。
- 8月末までの累計ポイント換算額とあわせて合計100万円を寄付。
- インドネシアのマングローブ等の苗木植樹育成に活用、5,800本の植樹につながる見込み。



注意事項

本資料に記載した業績等に関する予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、記載した予想数値と異なる可能性があります。

本資料の金額表示は切り捨て表示しています。

予算比・前期比における％表示は、増減について±記号を用い、四捨五入表示しています。